

教科	国語	科目	国語総合	単位数	3単位
履修学年 (区分)	1年 (必履修科目)	使用教科書 副教材など	改訂版高等学校国語総合(数研出版) クアカケ国語便覧(数研出版)	履修年度	令和2年度
科目の 目標	国語を適切に表現し的確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、心情を豊かにし、言語感覚を磨き、言語文化に関する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。				

評価規 準・ 観 点 の 趣 旨	①関心・意欲・態度	②話す・聞く能力	③書く能力	④読む能力	⑤知識・理解
	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	目的や場に応じて効果的に話し的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えを論理的にまとめ、深めている。	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉や表現技法の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。
評価方法	授業への取り組み、発言、提出物の状況、考査の論述で確認する。	授業中の態度、発言、音読、朗読、ノートメモ点検で確認する。	課題プリント、作文、ノート点検、相互評価、小テスト、定期考査で確認する。	発言、ワークシート、自己評価、課題プリント、定期考査で確認する。	発言、小テスト、定期考査などで評価する。
	上記の観点別評価を定期考査の結果と併せて、総合的に評価する。				

学期	月	時数	単元・教材	学習内容(【】は評価の観点)	評価
1 学 期	4	5	随想 わたしであり、あなた でなくちゃ	◇随筆の読み方を習得し、具体例が論の展開にどのようにかかわっているかを考える。【読】 ◇語彙やキーワードに注目する。【知・理】	定期考査・授業中の活動・ノート・ワークシート・小テスト・提出物の取り組みの状況をもって総合的に評価。 「中間考査」 「期末考査」
		7	入門 児のそら寝	◇歴史的仮名遣いを正しく理解する。【知・理】 ◇古文に親しみ、古文を詠むための基礎を身に付ける。【知・理】	
	5	8	小説(一) 羅生門	◇視点や語りに注目して、小説を読む方法を身に付ける。【読】 ◇登場人物の設定・主人公の心理を的確に読み取る。【読】 ◇作者について理解し、他作品への読書の広がりを持たせる。【知・理】	
		6	6	入門 檢非違使忠明	
2 学 期	9	9	入門 入門一(訓読の基礎) 入門二(再読文字助字 置字)	◇訓読の基本を理解し、訓点に従って漢文を読んだり、書き下し文に改めたりする。【知・理】 ◇それぞれの格言の意味を理解する。【読】	定期考査・授業中の活動・ノート・ワークシート・小テスト・提出物の取り組みの状況をもって総合的に評価。 「中間考査」
		10	7	評論(一) 水の東西	
	11				

期	12	9	随筆（一） 徒然草 つれづれなるままに 神無月のころ 丹波に出雲といふ所	◇描かれた情景を表現に即して読み味わう。 【読】 ◇助動詞・係り結びの法則など文法事項を理解する。【知・理】	「期末考査」
		6	評論 ネットが崩す公私の境	◇本文に述べられた、インターネットにより大きな変容の見られる局面を読み取り、説明できる。【読】 ◇本文の内容を身近な例に置き換えて、資料を用いて発表する。【話・聞】【書】	
		9	歌物語 伊勢物語 東下り	◇登場人物の性格や心理の動きを読み取る。 【読】 ◇文章中の和歌の役割について理解する。【読】 ◇用言の活用を理解する。【知・理】	
3 学 期	1 2 3	10	小説（二） 清兵衛と瓢箪	◇展開に沿って、場面を的確に読み取る。【読む】 ◇文章の結末部から筆者の意図する内容をくみ取っている。【読】	定期考査・授業中の活動・ノート・ワークシート・小テスト・提出物の取り組みの状況をもって総合的に評価。 「学年末考査」
		7	故事・寓話 矛盾・借虎威	◇故事を正しく読み取り、故事成語の意味を理解する。【読】 ◇文法事項に注意し、適切に訓読し、正確な読み取りをする。【知・理】	
		7	詩・短歌・俳句 I was born サーカス	◇詩の形式や表現の特色を理解する。【知・理】 ◇作品に歌われ得ている情景や心理を表現に即して読み味わう。【読】	